



1 第 2660 地区米山学友会 40 周年記念式典開催

7月6日、国際ロータリー第2660地区米山学友会の40周年記念式典がシェラトン都ホテル大阪にて開催され、



国内外から約320人が集結しました。当会からは若林紀男理事長と6人の学友委員会委員が臨席しました。開会に先駆け、故小沢一彦名誉理事長の追悼映像の上映と、黙とうが行われました。

3部構成の第1部総会では、同学友会会長の呉偉偉さん(2010-11/青森東RC)の開会の辞、水野功RI理事、同地区の吉川健之ガバナーの挨拶に続き、学友会活動等の報告が行われました。

第2部の記念式典では、実行委員長で同学友会顧問の何玉翠さん(1987-89/奈良RC)の挨拶、若林理事長の祝辞の後、同学友会の歴代会

長、同地区の歴代地区米山記念奨学委員長への記念品贈呈や、海外学友会からの参加者紹介などが行われました。

第3部の懇親会では、米山バンドによる演奏やダンスが披露された後、同地区の現役米山奨学生が紹介され、温かい拍手に包まれました。参加者から「米山奨学事業への熱量の高さに感銘を受けた」という声が挙がるほど、会場は大盛り上がりとなりました。

翌7日は「EXP02025 大阪・関西万博米山ツアー」と題し、各班に分かれて万博会場を散策。約100人が参加し、さまざまなパビリオンを巡りながら最先端技術に触れるとともに、米山奨学生・学友とロータリー会員が交流を深める機会となりました。

2 第2回 次期地区米山奨学委員長セミナー開催

6月9日、2025-26年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第2回セミナーを都内会場で開催しました。

午前の部は、神野重行常務理事の挨拶に続き、事務局から学務・学友・広報関連について説明を行いました。午後の部では、事例発表①として、第2760地区の神谷恵理委員長から、海外応募者対象奨学金採用の取り組みについて、続け

て事例発表②として、第2770地区の小川和義次期委員長から、米山奨学事業への理解促進と寄付増進の取り組みについて、それぞれご紹介いただきました。その後4グループに分かれて「指定校選定および学校との連携について」という共通テーマでディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、井原實副理事長の講評で締めくくられました。

米山学友と再会

ホームカミング制度 補助費変更のお知らせ

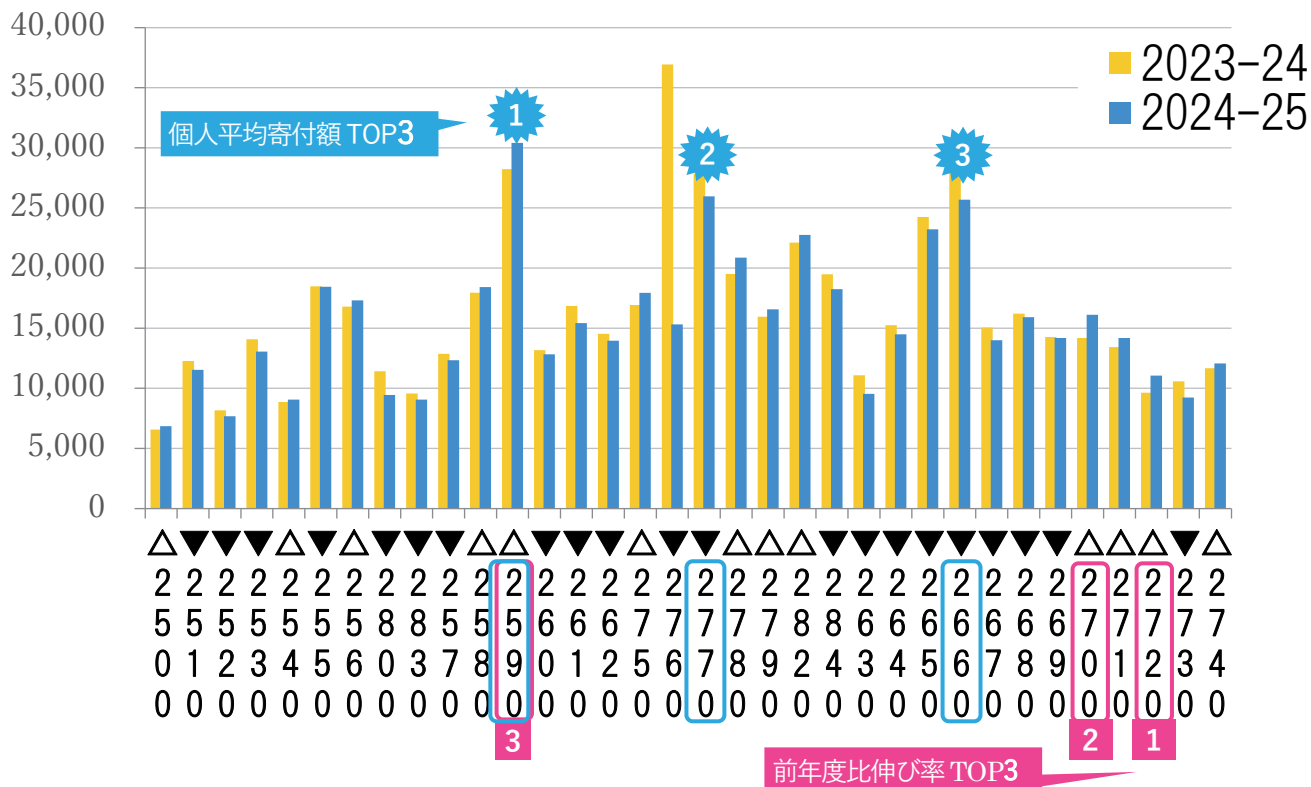
ホームカミング制度の補助費上限はこれまで一律25万円(1人につき)でしたが、2025年度からは、日本国内からの招聘は上限25万円、海外からの場合は上限35万円が支給されます(※実費精算)。各地区が誇る学友を招くため、ぜひ制度をご活用ください。

詳細はこちら



3 2024-25 年度 寄付金結果

2024-25 年度の寄付金は約 13 億 3,000 万円となりました。前年度比 7.9%減（普通寄付金:1.3%減、特別寄付金:10.6%減）、約 1 億 1,500 万円減少しました。ご寄付いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。2025 年度も引き続き、よろしくお願いいたします。



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：15,999 円】

① 第 2590 地区：30,406 円 ② 第 2770 地区：25,967 円 ③ 第 2660 地区：25,685 円

前年度比伸び率 TOP3

① 第 2720 地区：114.7% ② 第 2700 地区：113.6% ③ 第 2590 地区：107.7%

4 新規奨学生へ先輩奨学生が卓話を実演指導

6 月 28 日、国際ロータリー第 2790 地区が新規奨学生向けの第 2 回研修ゼミを成田市内で開催し、現役米山奨学生とカウンセラーら 77 人が参加しました。

この研修は同地区米山記念奨学委員会の主催で毎年行われており、奨学生は例会出席や卓話について、カウンセラーは奨学生本人について、それぞれ理解を深めることを目的としています。

第 1 回の研修は、「ロータリーを知る」をテーマに 5 月 17 日に開催。第 2 回となった今回、「卓話とは何か？どうやって話すのか？」をテーマに、卓話に関する注意事項の共有を行い、先輩奨学生が卓話を実演しました。参加した奨学生からは、「発表の構成が印象的で、日本語の使い方が勉強になりました」といった感想が挙



卓話を実演する米山奨学生

がりました。

2024 年度同学友会会長の玄香花さん（2022-24/木更津東 R C）は、「私も奨学生当時、研修会に参加したおかげで卓話への理解が深まり、非常に役立ちました。奨学生とカウンセラーの距離がぐっと縮まる大変貴重な機会です」と述べました。